

2012年3月29日

## 九州新幹線全通1年後の利用状況調査

株式会社 鹿児島地域経済研究所

### 【調査結果の要点】

#### (鹿児島中央駅)

#### ●居住地

- ・ 他県居住者の利用割合は**56.7%**で本県居住者の利用割合の**43.3%**を上回った。他県居住者の割合は前回調査（11年9月）の**56.4%**とほぼ変わらず、全通前調査（10年3月）の**42.3%**から大幅に増加している状態が続いている。
- ・ 県外では、特に本州沿線府県居住者の利用割合は**11.8%**となっている。前回調査の**12.0%**とほぼ同じで、全通前調査の**3.3%**よりも大きく増えている。

#### ●利用目的

- ・ 他県居住者の利用目的は「観光・レジャー」が**38.9%**となった。前回調査と同様、約4割の他県居住者が「観光・レジャー」で利用しており、全通前調査の**29.6%**より大きく増加した。他県居住者のうち、本州沿線府県居住者は**52.7%**が「観光・レジャー」と回答した。

#### ●利用頻度

- ・ 利用頻度をみると、調査対象全体、本県居住者、他県居住者のいずれも複数回以上の割合が前回調査より増加している。「初めて利用」は調査対象全体では**25.1%**、他県居住者では**39.4%**となった。

#### ●日帰り・宿泊状況

- ・ 他県居住者の「観光・レジャー」での有料宿泊は**87.8%**となり、全通以来上昇傾向にある。一方で、「ビジネス」での日帰りは**33.0%**となり、前回調査の**26.4%**よりも増加した。

---

株式会社 鹿児島地域経済研究所

## 【調査概要】

### ■ 調査目的

本調査は九州新幹線の利用状況を把握し、今後の観光振興などに生かしてもらうことを狙いに、毎年3月に実施している。また、全線開業した昨年は、半年後の9月にも同様の調査（前回調査）を実施しており、全通前調査（10年3月）や全通直後の調査（11年3月）の結果とともに比較検討を行った。また、今回調査でも前回調査同様、川内、出水駅においても調査を実施した。

### ■ 調査実施日

鹿児島中央駅 12年3月7日（水）、9日（金）、10日（土）、11日（日）  
の4日間、9：00～10：30、14：00～15：30、18：30～20：00の  
各時間帯

川内駅 12年3月7日の7：30～18：00、10日の9：00～18：00

出水駅 12年3月9日の7：30～18：00、11日の9：00～18：00

■ 調査場所 各駅の新幹線改札内コンコース

■ 調査対象 調査期間中の九州新幹線乗降客から無作為抽出

■ 有効回答 鹿児島中央駅 1,765 件、川内駅 400 件、出水駅 400 件

■ 調査方法 面接による直接聞き取り

## 【調査結果】

### 1. 鹿児島中央駅

#### ① 居住地

- ・ 他県居住者の利用割合は 56.7%で本県居住者の利用割合の 43.3%を上回った。他県居住者の割合は前回調査の 56.4%とほぼ変わらず、全通前調査の 42.3%から大幅に増加した状態が続いている（図表 1）。
- ・ 県外では、特に本州沿線府県（山陽新幹線沿線）の居住者の利用割合が 11.8%となっている。前回調査の 12.0%とほぼ同じで、全通前調査の 3.3%よりも大きく増えている。
- ・ 本県居住者の目的地をみると、県外が 6 割を超えている。県外のうち、九州外の割合が 12.6%と全通前の 4.9%と比較して増加しており、中国・関西地方が全体の 9.6%だった（図表 2）。

#### ② 利用目的

- ・ 利用目的別にみると、調査対象全体では「ビジネス」が 31.4%と最も多く、次いで「観光・レジャー（30.4%）」となった（図表 3）。
- ・ 本県居住者の利用も「ビジネス」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「観光・レジ

ヤー（19.2%）」となった。一方、他県居住者は「観光・レジャー」が 38.9%と最も多かった。全通前調査の 29.6%より大幅に増加しており、全通して 1 年が経過してもなお、4 割近くの県外居住者が「観光・レジャー」で利用している。また、本州沿線府県居住者の 52.7%が「観光・レジャー」となっており、前回調査の 46.9%から増加した（図表 4）。

- ・ 本県居住者の利用目的を移動別にみると、県内移動では「通勤・通学」が 32.7%と最も多かった（図表 5）。また「ビジネス」は 18.0%と前回調査の 11.9%より 6.1<sup>ポイント</sup>増加した。「親戚・友人に会う」や「冠婚葬祭」などの「その他」も 25.9%と前回調査の 17.9%より 8.0<sup>ポイント</sup>増加しており、利用目的が多様化している状況がうかがえる。県外移動では「ビジネス」が 35.2%と前回調査よりも 3.4<sup>ポイント</sup>減少した一方で、「観光・レジャー」は 25.9%と 3.5<sup>ポイント</sup>増加した。

### ③ 利用頻度

- ・ 利用頻度をみると、調査対象全体、本県居住者、他県居住者のいずれも複数回以上の割合が前回調査より増加し、リピーターの利用がすすんできている（図表 6）。「初めて利用」は調査対象全体では 25.1%、他県居住者では 39.4%となっており、前回調査より減少している。
- ・ また、本県居住者の利用頻度を移動別にみると、県内移動においては「ほぼ毎日」が 31.6%となり、九州新幹線は通勤・通学など日常の移動手段として定着している状況があらためて確認された（図表 7）。

### ④ 他県居住者の日帰り・宿泊状況

- ・ 他県居住者の「観光・レジャー」での有料宿泊の割合は 87.8%と全通以降、上昇を続けている。一方で、日帰りは 10.1%と減少傾向にある（図表 8）。
- ・ 一方、「ビジネス」では有料宿泊が 63.3%と前回調査の 69.6%よりも減少した半面、日帰りは 33.0%と前回調査の 26.4%よりも増加した。

### ⑤ 鹿児島を訪れた回数

- ・ 他県居住者の来鹿回数は、「5 回以上」が 51.9%と半数を超え、「初めて」は 22.6%となった（図表 9）。
- ・ 利用目的別にみると、「ビジネス」では「初めて」が 9.6%と前回調査とほぼ同じだった一方で、「観光・レジャー」では「初めて」が 44.4%と前回調査の 37.3%より 7.1<sup>ポイント</sup>増加した。
- ・ 本州沿線府県居住者をみると、「観光・レジャー」目的の半数以上（56.5%）が「初めて」鹿児島を訪れたと答えた。

## ⑥ 県外観光客へのアンケート

- ・ 目的地は「鹿児島市（66.2%）」が最も多く、「指宿（49.9%）」「霧島（15.1%）」「知覧（9.6%）」「種子屋久（3.8%）」と続く（図表 10）。また、目的地を「鹿児島市」と回答した観光客の半数近くが桜島（47.4%）、天文館（45.5%）を訪れている（図表 11）。
- ・ 観光目的は「温泉」が 60.6%と最も多く、次いで「名所・旧跡（34.4%）」「自然・景観（28.4%）」となっている（図表 12）。
- ・ 情報収集手段は「インターネット（43.2%）」の利用割合が最も高く、「旅行代理店（27.2%）」「市販のガイドブック（23.5%）」が続く（図表 13）。
- ・ 県外観光客の二次交通手段は、「在来線」の利用割合が 23.6%と最も高く、次いで「レンタカー（23.2%）」「タクシー（22.4%）」「路線バス（21.5%）」の順となっている（図表 14）。
- ・ 自由意見として、「豚しゃぶや地鶏などの食べ物がおいしかった」「ゆっくりと温泉に入れてよかった」など鹿児島の食や観光資源を評価する声が前回調査同様、多く聞かれた。また、「（テレビなどで）宣伝をしていたので来てみたくなった」と関西地方などでのプロモーション活動の効果がうかがえるような意見もあった。
- ・ 一方で、「霧島内を周遊するバスが少ない」「いぶたま以外の指宿方面の快速列車を増やしてほしい」など、二次交通手段に対する指摘もあった。

## 2. 川内駅

### ① 居住地

- ・ 居住地別にみると、薩摩川内市が 60.2%と最も多く、鹿児島市の 10.5%、出水市の 5.0%、その他県内の 8.5%を含めると、本県居住者の利用割合が 8 割を超えた（図表 15）。前回調査同様、本県居住者の利用が大半であった。

### ② 利用目的

- ・ 利用目的別にみると、調査対象全体では「ビジネス（23.6%）」が多く、「通勤・通学（21.3%）」「買い物（13.2%）」と続いた（図表 16）。
- ・ 「その他」も 25.8%と依然高い。鹿児島中央駅同様、利用目的の多様化がうかがえるが、中でも「通院（6.8%）」「親戚・友人に会う（4.8%）」が多くなっている。
- ・ 居住地別に利用目的をみると、本県居住者は「通勤・通学（25.3%）」、他県居住者は「ビジネス（46.0%）」の利用割合がそれぞれ高くなっている。

### ③ 利用頻度

- ・ 利用頻度別にみると、「初めて」利用したのは調査対象全体、本県居住者、他県居住者のいずれも 2%弱にとどまり、大部分が複数回以上の利用となった（図表 17）。

### 3. 出水駅

#### ① 居住地

- ・ 居住地別にみると、出水市が 54.3%と最も高く、鹿児島市の 9.8%、薩摩川内市の 2.5%、その他県内の 7.5%を含めると、本県居住者の利用割合は 74.1%となった（図表 18）。

#### ② 利用目的

- ・ 利用目的別にみると、調査対象全体では「ビジネス」の利用割合が 23.1%と高く、次いで「通勤・通学（14.8%）」「帰省（12.3%）」となった（図表 19）。
- ・ 「その他」も 32.8%となっており、出水駅においても利用目的の多様化がうかがえる。中でも「親戚・友人に会う（6.3%）」「通院（6.0%）」が多くなっている。
- ・ 本県居住者は「ビジネス（23.0%）」、他県居住者は「帰省（29.1%）」の利用が多かった。

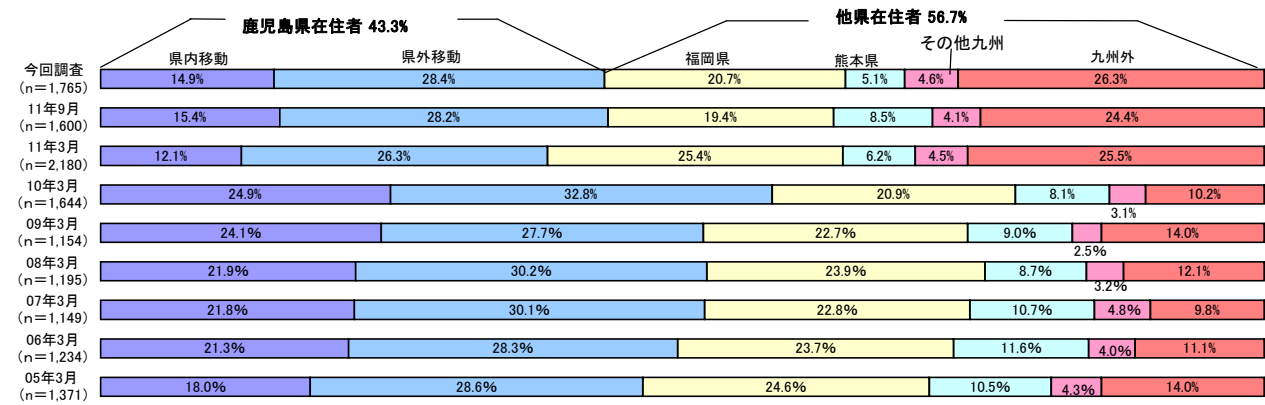
#### ③ 利用頻度

- ・ 利用頻度別にみると、「初めて」と回答したのは、調査対象全体では 6.6%、本県居住者では 3.0%となり、前回調査同様、複数回以上が大部分を占めた（図表 20）。川内駅と同じように、地元住民の日常生活の移動手段として定着している。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 経済調査部（TEL 099-225-7491）

★鹿児島中央駅  
図表1 居住地別利用者割合



※本州沿線府県居住者の利用割合 (単位: %)

	10年3月	11年3月	11年9月	今回
山口県	0.5	1.3	1.0	1.2
広島県	1.1	4.1	3.7	3.3
岡山県	0.3	1.6	2.0	1.8
兵庫県	0.4	2.9	2.1	1.5
大阪府	1.0	3.8	3.2	4.0
5府県計	3.3	13.7	12.0	11.8

図表2 本県居住者の目的地

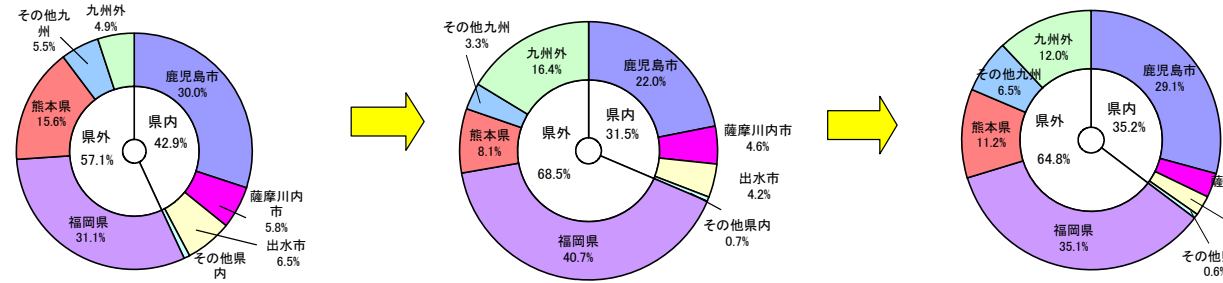
※目的地(本州沿線府県) (単位: %)

	11年3月	11年9月	今回
山口県	0.9	1.6	1.8
広島県	2.7	3.1	3.0
岡山県	1.6	0.7	0.9
兵庫県	2.3	0.7	1.3
大阪府	5.1	2.7	2.6
5府県計	12.6	8.8	9.6

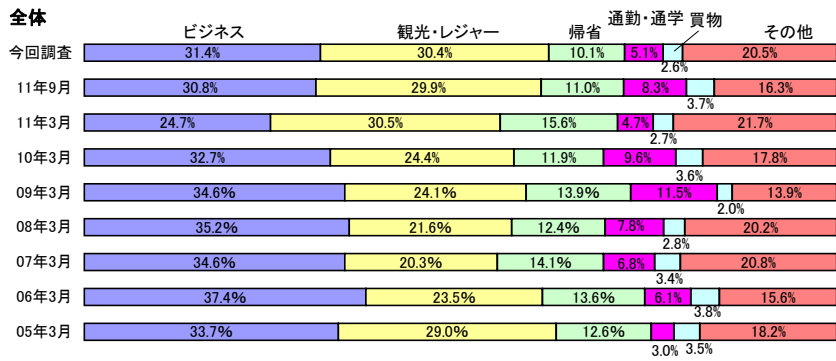
【10年3月】

【11年3月】

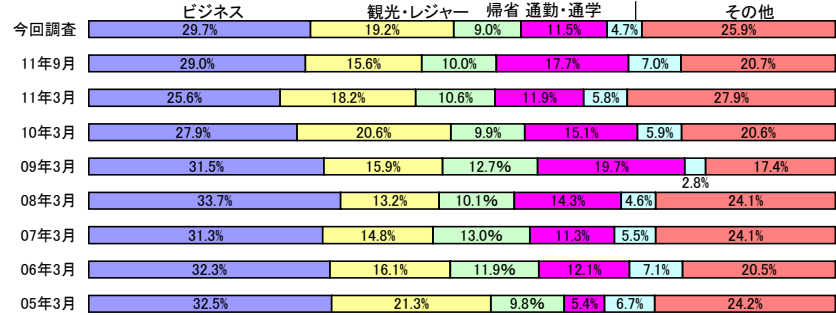
【11年9月】



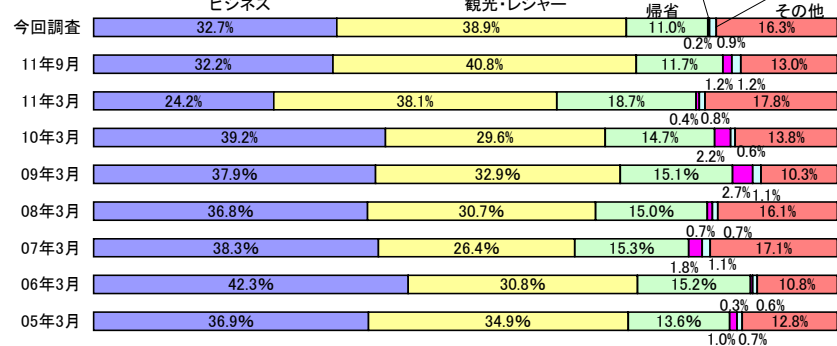
図表3 新幹線利用者の利用目的



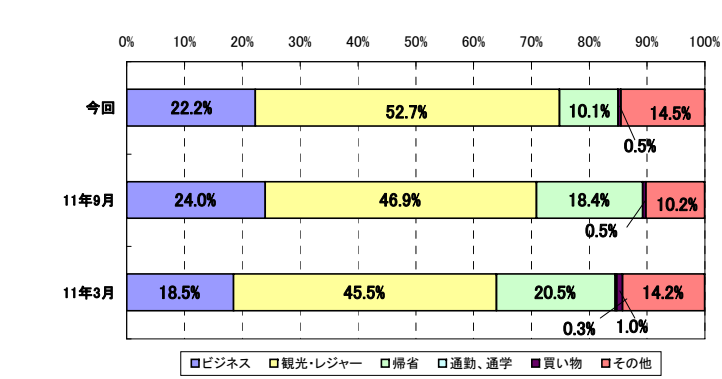
本県居住者



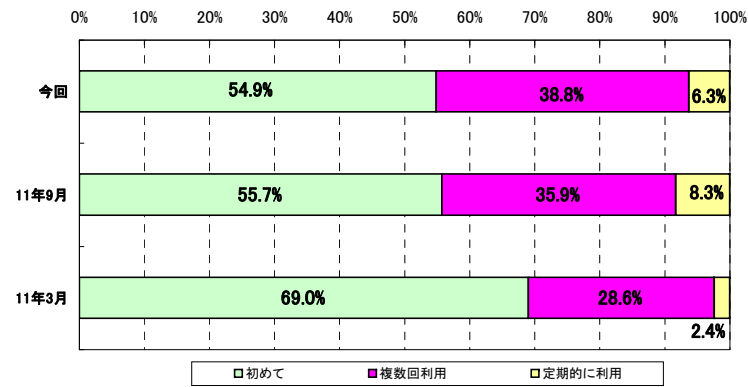
他県在住者



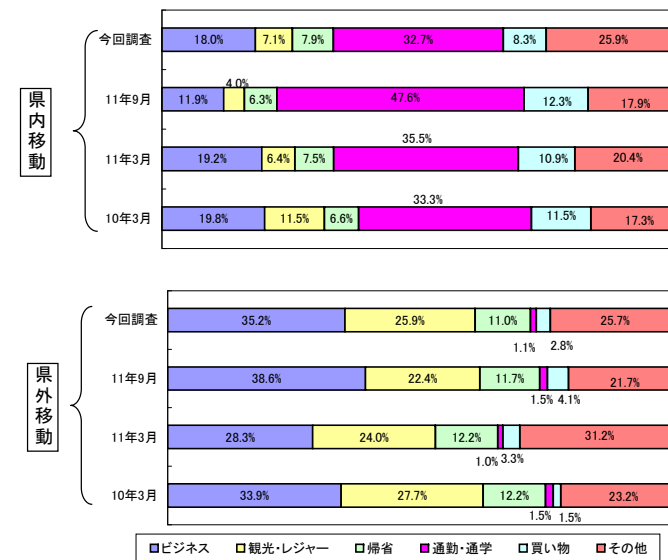
図表4 本州沿線府県居住者の利用目的・利用頻度



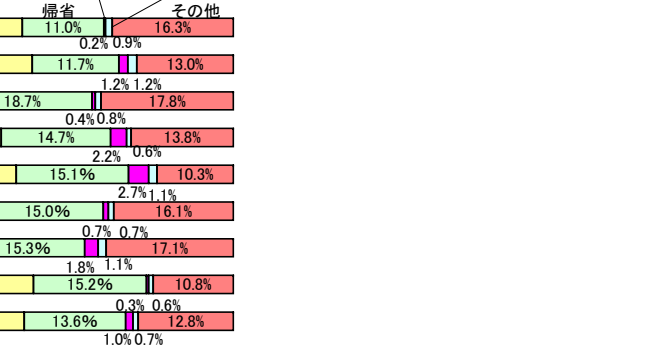
【利用頻度】



図表5 本県居住者の移動別利用目的

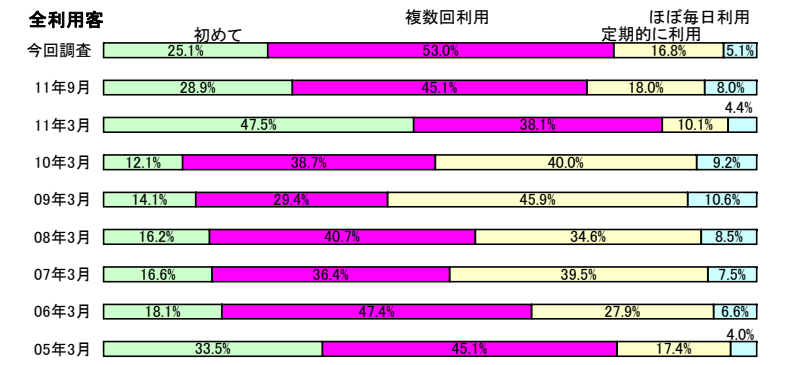


県内移動

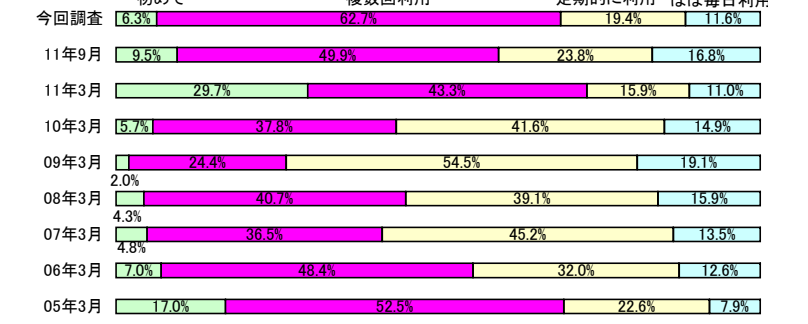


県外移動

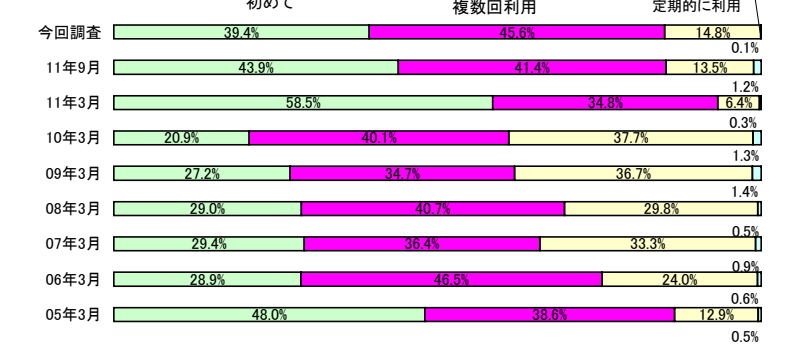
図表6 新幹線利用者の利用頻度



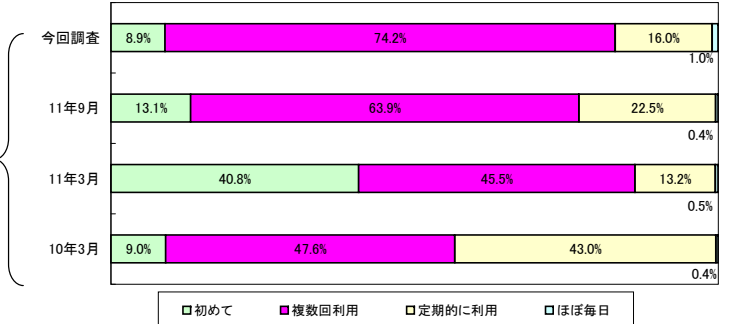
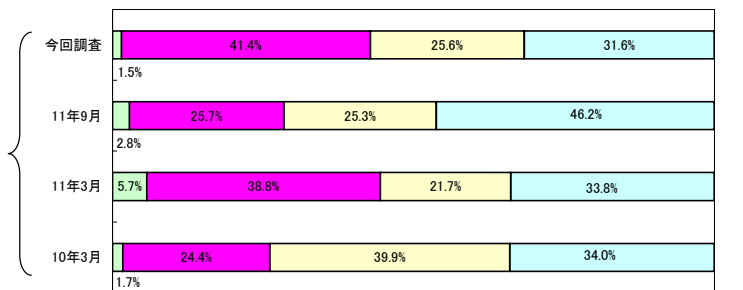
本県居住者



他県居住者



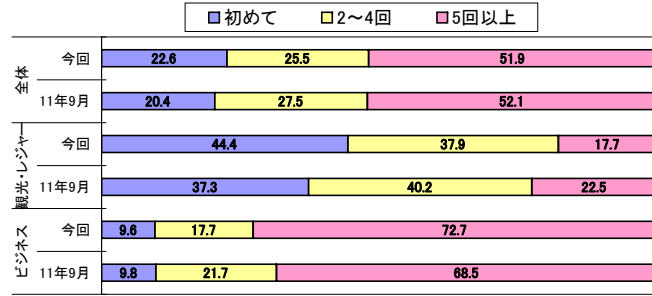
図表7 本県居住者の移動別利用頻度



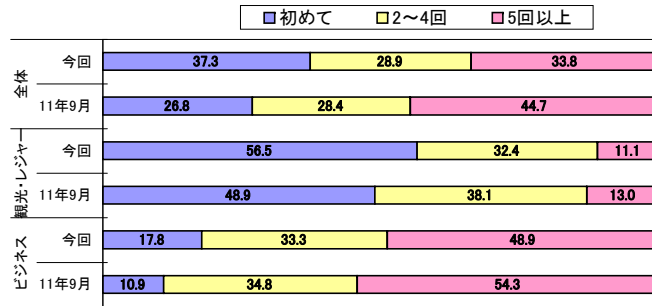
図表8 他県居住者の利用目的別日帰り・宿泊状況

	有料宿泊				日帰り			
	10年3月	11年3月	11年9月	今回	10年3月	11年3月	11年9月	今回
全体	52.5%	56.3%	63.5%	61.8%	26.6%	20.5%	20.6%	21.9%
観光・レジャー	70.9%	81.0%	82.8%	87.8%	25.2%	16.5%	14.1%	10.1%
ビジネス	67.3%	66.3%	69.6%	63.3%	29.8%	31.3%	26.4%	33.0%

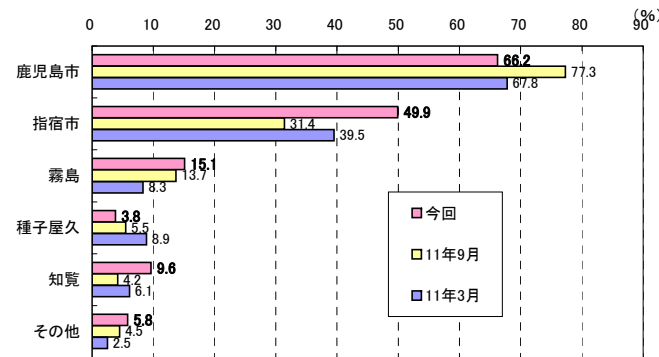
図表9 他県居住者の来県回数



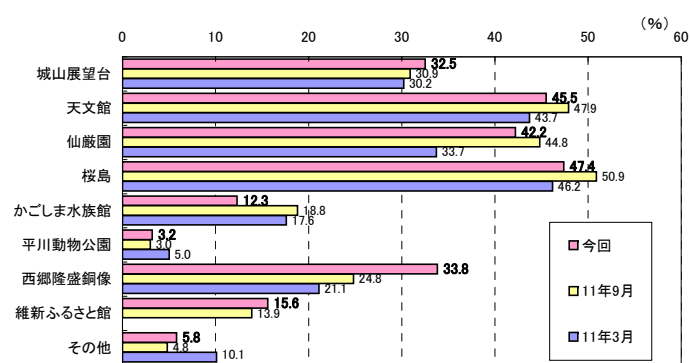
〔うち本州沿線府県居住者〕



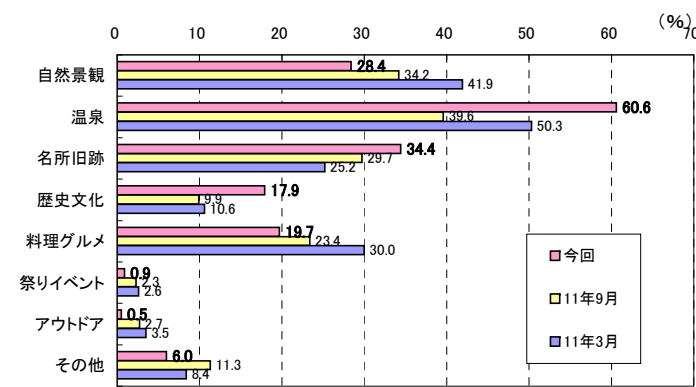
図表10 県外観光客の目的地(複数回答)



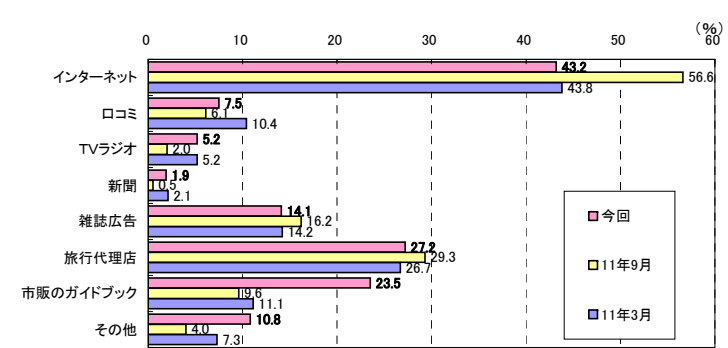
図表11 鹿児島市内を訪れた県外観光客の目的地(複数回答)



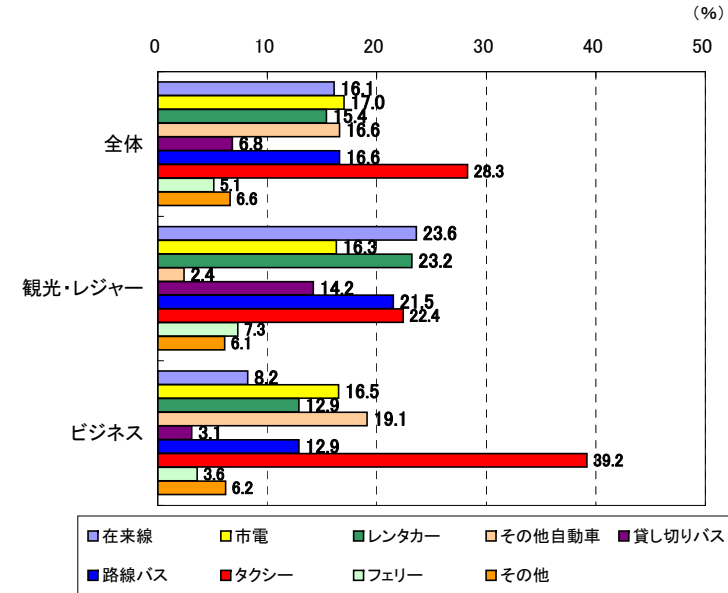
図表12 県外観光客の観光目的(複数回答)



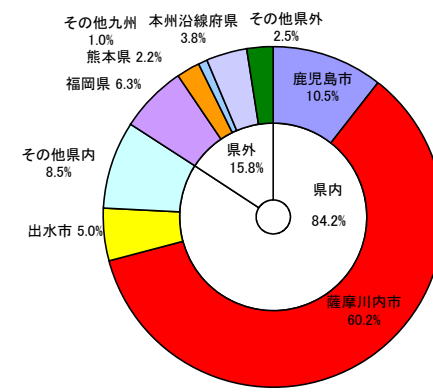
図表13 県外観光客の情報収集手段(複数回答)



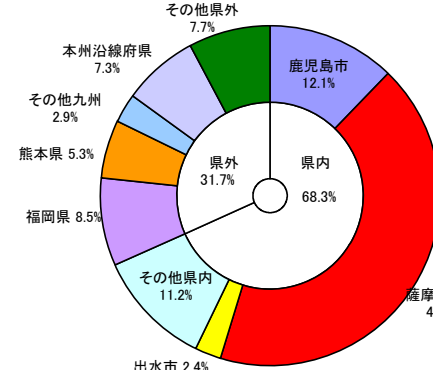
図表14 他県居住者の二次交通手段(利用目的別、複数回答)



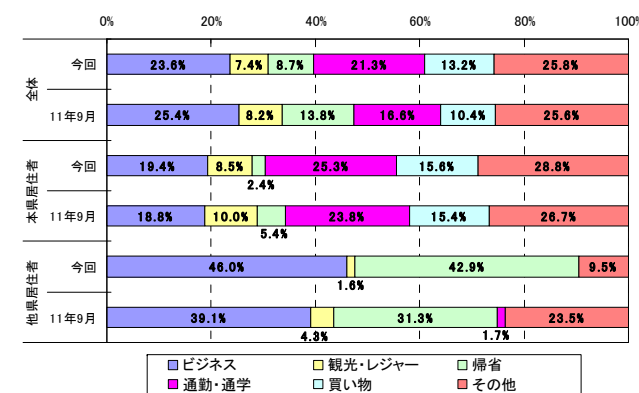
★川内駅  
図表15 居住地別利用者割合  
12年3月(n=400)



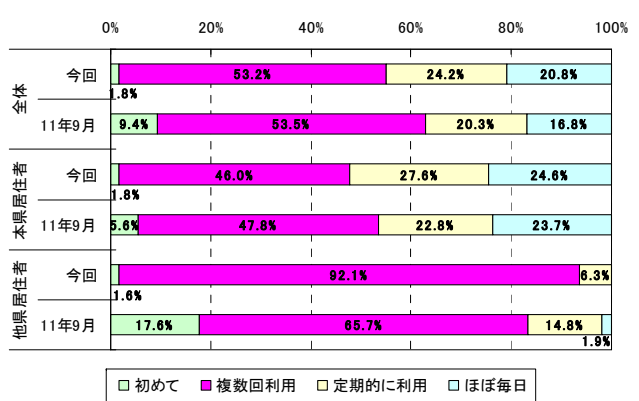
11年9月(n=340)



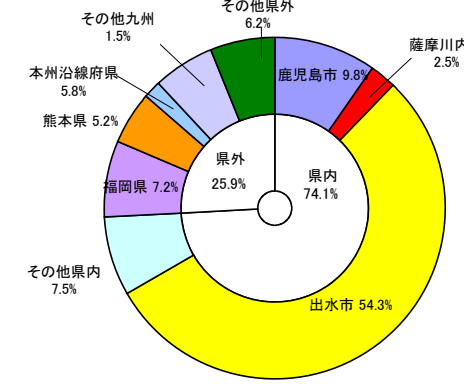
図表16 利用目的



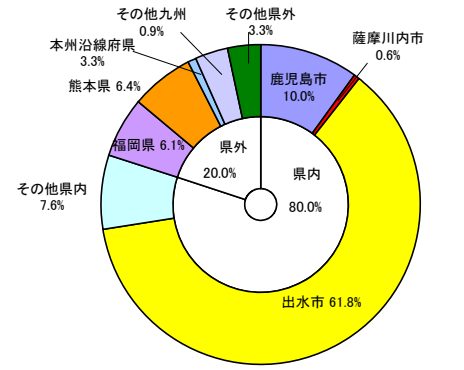
図表17 利用頻度



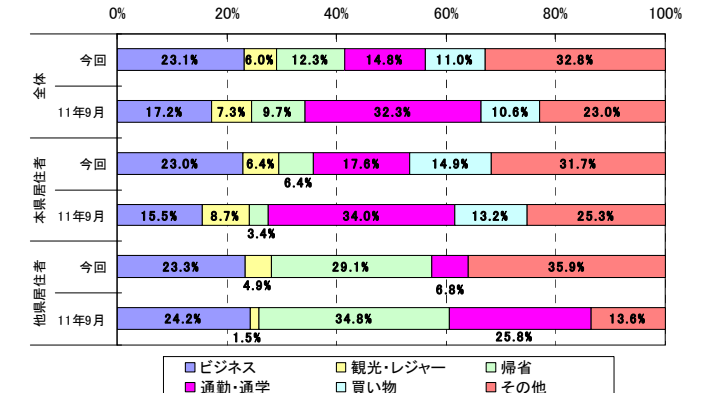
★出水駅  
図表18 居住地別利用者割合  
12年3月(n=400)



11年9月(n=330)



図表19 利用目的



図表20 利用頻度

